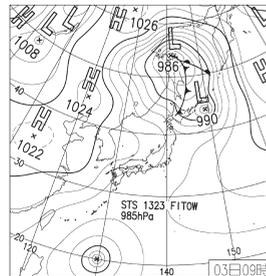
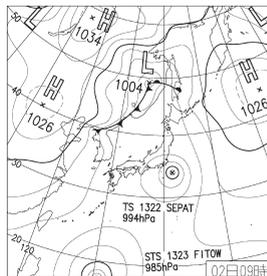
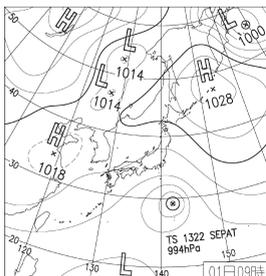
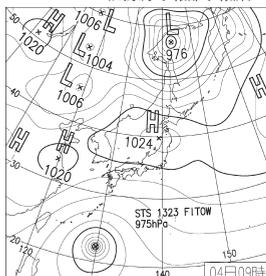


日々の天気図

— No. 141
2013年10月

- ・9日、国内史上初となる10月の猛暑日を新潟県糸魚川で記録。
- ・16日、伊豆大島で記録的な大雨。大島元町で1時間100mm前後の猛烈な雨が数時間続き、24時間降水量は824mm。大規模な土砂災害発生。
- ・台風が相次いで日本に接近。10月に6個接近は1951年以降最多。(気象庁予報部予報課)

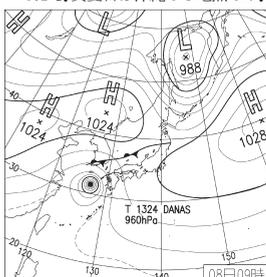


4日(金)台風第24号発生
日本海側は高気圧に覆われて晴れ、太平洋側は湿った空気の影響で曇りや雨。東北は放射冷却により冷え込み、岩手県盛岡市飯川で最低気温-0.1℃。真夏日は沖縄の3地点のみ。

1日(火)西日本で真夏日
東～北日本太平洋側は、気圧の谷の影響で曇りや雨。西日本～東北の日本海側は晴れて気温上昇。最高気温は55地点で10月の1位更新。沖縄・奄美、西日本中心に91地点で真夏日。

2日(水)台風 関東の東を通過
台風第22号が関東の東を北上したため、関東や北日本太平洋側で雨。その他の地域は晴れや曇り。よく晴れた東海を中心に真夏日101地点。千葉県銚子で最大瞬間風速23.7m/s。

3日(木)台風は温帯低気圧に
午前3時に三陸沖で台風から変わった低気圧・寒冷前線と気圧の谷の通過で、北日本と本州日本海側で午前中雨。午後は関東も雨。北海道稚内市宗谷岬で最大瞬間風速28.1m/s。



5日(土)台風 先島諸島に接近
台風第23号は勢力を強めながら夜には宮古島の北を通過。九州、四国の太平洋側を中心に激しい雨。高知県清水で日降水量305.5mm。沖縄県下地島空港で最大瞬間風速42.2m/s。

6日(日)先島諸島で暴風
台風第23号が先島諸島の北海上を西進し、先島諸島を中心に暴風。沖縄県石垣市伊原間で最大瞬間風速42m/s。近畿を中心に38地点で、日最高気温の10月の1位を更新。

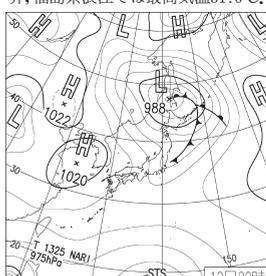
7日(月)台風 与論島付近を通過
暖気流入により各地で気温上昇、131地点で真夏日。西日本や日本海側を中心に86地点で10月の日最高気温記録を更新。台風第24号により鹿児島県与論島で最大瞬間風速53.5m/s。

8日(火)台風 九州の西を北上
台風第24号は強い勢力を保ったまま九州北部に接近。長崎県対馬市鏑浦で最大瞬間風速41.4m/s。北陸・関東・東北南部では晴れて気温上昇。福島県浪江では最高気温31.6℃。

9日(水)史上初 10月の猛暑日
台風第24号は温帯低気圧に。晴天にフェーン現象も加わり日本海側を中心に58地点で10月の日最高気温1位を更新。新潟県糸魚川で35.1℃の猛暑日となり、国内最晩記録を更新。

10日(木)高温続く
よく晴れた東海以西の太平洋側中心に気温上昇。真夏日は117地点となり、13地点で10月の日最高気温記録更新。長崎県平戸で47mm/1h。岩手県沖の地震により青森県で震度4。

11日(金)日本海側中心に雨
日本海の低気圧と前線の影響で、西～北日本の日本海側を中心に雨。北海道八雲町熊石で67mm/1h。10月の1位を更新。日中に晴れた西～東日本太平洋側の88地点で真夏日。

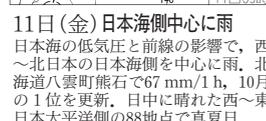
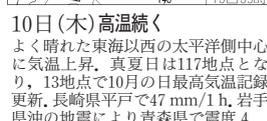
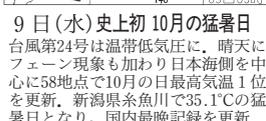


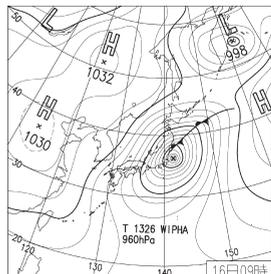
13日(日)北日本 一時的な冬型
北日本は冬型の気圧配置となり、日本海側で曇りや雨。太平洋側で晴れ。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。前日までの高温傾向は解消。岩手県岩手山、富山県立山で初冠雪。

14日(月)広く晴れた「体育の日」
全国的に晴れ。放射冷却により朝は冷え込み、東～北日本の内陸部を中心に最低気温は平年並以下。最高気温は西日本では平年より高め。北海道利尻山と斜里岳で初冠雪。

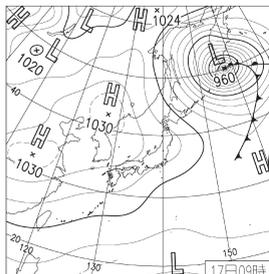
15日(火)台風第26号北上
大型で強い台風第26号は南大東島の東を北上。東～北日本の大東空港で最大瞬間風速35.5m/s。台風の影響で九州～東日本の太平洋側は明け方から雨。東海～関東で昼過ぎから強雨。

12日(土)東京の真夏日最晩更新
北陸や北日本は前線の影響で曇りや雨。沖縄・奄美～東海・関東は晴れ。よく晴れた関東を中心に気温上昇。57地点で真夏日。東京は31.3℃で、前日に続き真夏日最晩記録を更新。

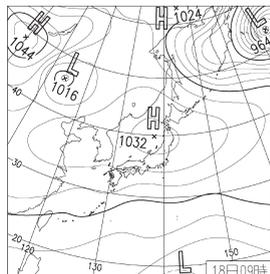




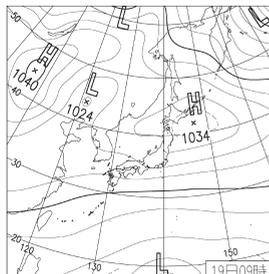
16日(水)伊豆大島で記録的大雨
 台風と停滞前線により、東京都大島元町で122.5mm/1h、24時間降水量824mm、共に観測史上1位更新。最大瞬間風速は千葉県銚子46.1m/s、宮城県女川町江ノ島45.5m/sを観測。



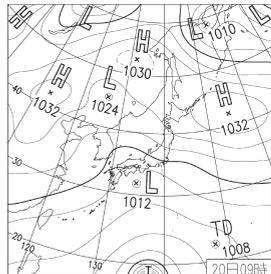
17日(木)各地で初冠雪
 高気圧に覆われたが、寒気が入った北日本日本海側では曇りや雨、その他の地域は晴れ。朝は気温が下がり北海道では多くの地点で冬日。石川県の白山など13の山で初冠雪。



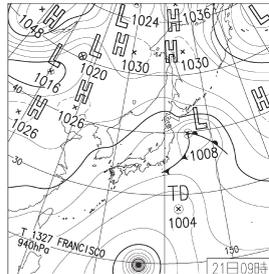
18日(金)各地で今季最低気温
 高気圧に覆われ、西日本の日本海側や北日本は晴れて気温が下がり、多くの地点で最低気温が今季最低に。岩手県藪川は-4.3°Cとなり、全国の今季最低。盛岡と釧路で初霜。



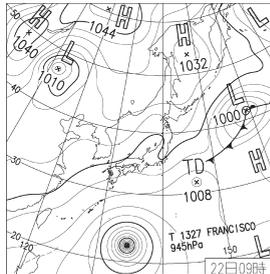
19日(土)富士山初冠雪
 湿った気流の影響で、沖縄～東海では雨となり、午後は関東も雨。北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。札幌と帯広で初氷。富士山で平年より19日遅い初冠雪。



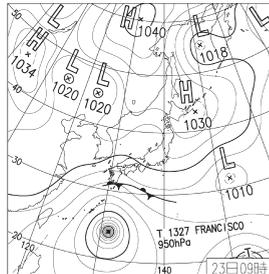
20日(日)広い範囲で雨
 西～北日本の広い範囲で雨。東海～東北南部では日降水量が100mmを超える大雨。福島県富岡では43mm/1h、日降水量135.5mm。未明に宮城県で震度4、昼前に茨城県で震度4。



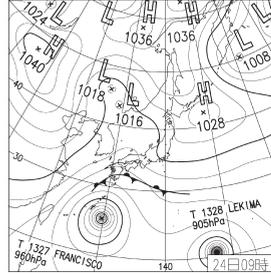
21日(月)台風第28号発生
 低気圧の影響を受けて曇りや雨となった北日本太平洋側と、東寄りの湿った風で曇りとなった関東の他は、高気圧に覆われて概ね晴れ。マージナル諸島付近で台風第28号発生。



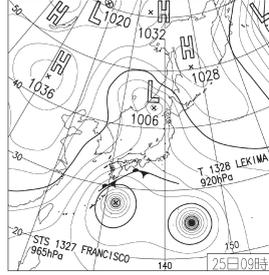
22日(火)釧路でカエデ紅葉
 台風第27号は北西進、次第に沖縄に接近。西日本や北海道は晴れたが、北東からの湿った空気の影響で、東日本・東北は曇りや雨。釧路市で平年より7日遅くイタヤカエデ紅葉。



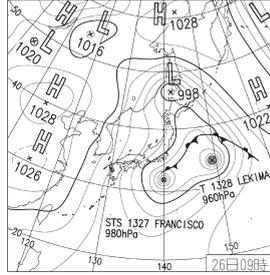
23日(水)台風 南大東島に接近
 本州の南に発生した前線により西～東日本は雨。北日本は高気圧に覆われ東北太平洋側を除き晴れ。南大東島は台風第27号の暴風域に入り、南大東村在所で最大瞬間風速33.6m/s。



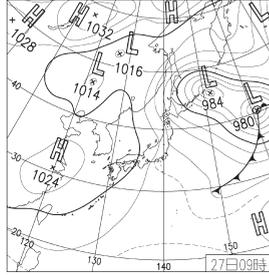
24日(木)台風第27号 北東に転向
 台風周辺の暖かく湿った空気により前線活動は活発で、九州・四国を中心に大雨。宮崎県諸塚57mm/1h、日降水量372.5mm。大分県佐伯市佐伯の日降水量359.5mmは史上1位更新。



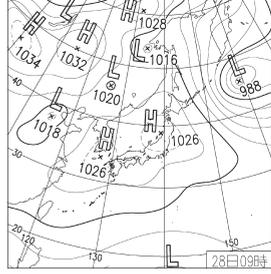
25日(金)日本付近に台風2個
 台風第27号と前線、北海道の西の低気圧の影響で全国的に雨。北海道白老町森野で日降水量255mm、鹿児島県奄美市笠利で最大瞬間風速33.4m/s。台風第28号は父島へ接近。



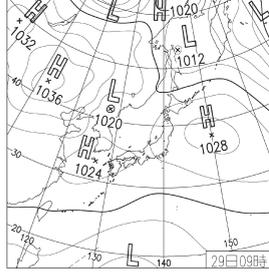
26日(土)台風 伊豆諸島に接近
 台風第27号が伊豆諸島に接近。東京都八丈島西見と栃木県那須大島で最大瞬間風速29.4m/s。福島県沖を震源とする地震により、栃木・茨城・福島・宮城各県で震度4。



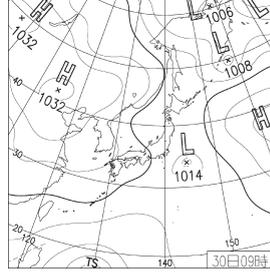
27日(日)台風一過
 北日本中心に西高東低の気圧配置となったが、徐々に大陸から高気圧が移動し日本付近を覆ったため、西日本や東日本の太平洋側では晴れ。寒気の影響で、北陸や北日本では雨。



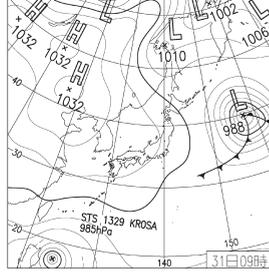
28日(月)秋晴れ
 移動性高気圧に覆われ、南西諸島と北海道日本海側で曇りが広がった他は概ね晴れ。朝の最低気温は西～東日本で平年より低め。群馬県武尊山で初冠雪。青森市でイチヨウ黄葉。



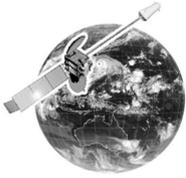
29日(火)近畿から関東で雨
 高気圧に覆われた九州・四国・中国は晴れ。気圧の谷の影響を受けた近畿～関東や低気圧の影響を受けた北海道は曇りや雨。近畿～関東の最高気温は11月中旬～12月上旬並。



30日(水)北陸や東北で雷
 上空に寒気を伴う低気圧が北日本を通過し、北陸から東北は雨や雷雨。関東も午後から一時雨。大陸の高気圧が張り出して西日本は晴れ。フィリピンの東で台風第29号発生。

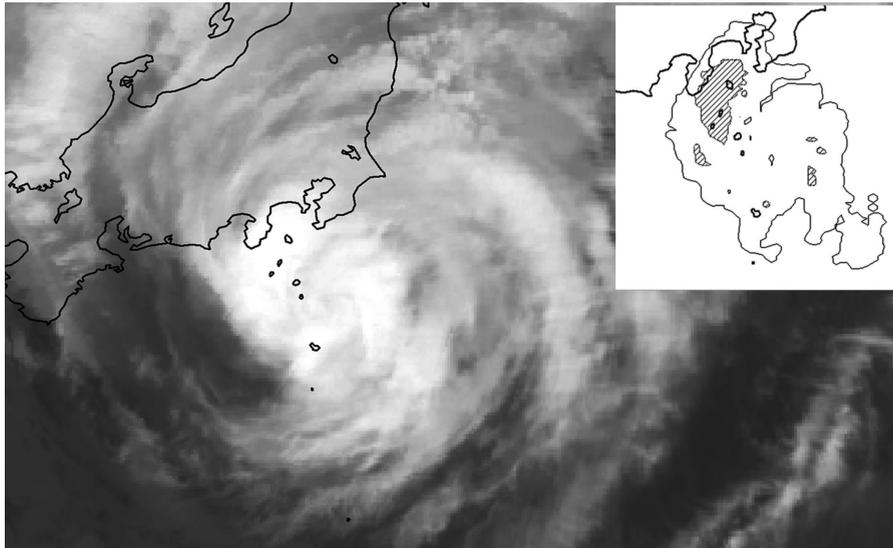


31日(木)沖縄・奄美で雨
 西～北日本は高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の影響で日本海側を中心に曇りや雨の所も。沖縄・奄美は、台風の影響で南東から湿った空気が流れ込み、曇りや雨。



今月のひまわり画像—2013年10月

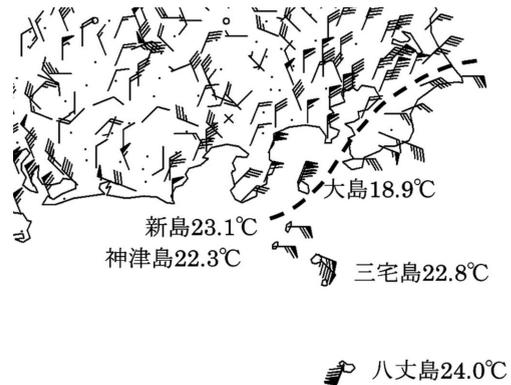
伊豆大島に甚大な土砂災害をもたらした台風第26号



第1図 2013年10月16日04時30分（日本時間）の関東南岸付近の赤外画像。右上図は同時刻の伊豆諸島付近における等価黒体温度の等値線。ハッチ域は -70°C 以下、実線は -60°C 線を示す。伊豆諸島の地名については第2図参照。

2013年10月16日未明から明け方にかけて、台風第26号が伊豆諸島付近を北東進した。第1図は同日04時30分（日本時間）の赤外画像である。伊豆大島（以下、大島）から神津島にかけて、一段と白く見える発達した雲域がある。大島付近には04時頃から2～3時間、 T_{BB} （等価黒体温度）が -70°C （高度約15 km）以下に達する発達した積乱雲域がかかり続けた（同図右上）。

台風が伊豆諸島に接近している16日00時以降のアメダスデータを見ると、大島では北東～北風、それより南の新島や三宅島では西～南西風と風向によるシアーが明瞭である。気温についても大島で約 18°C であるのに対し、シアー以南では $23\sim 24^{\circ}\text{C}$ となっていて、前線が大島の南に顕在化している（第2図）。この局地的な前線は房総半島からのびる沿岸前線で、台風が関東南岸に接近した場合などに発生することが多い。沿岸前線付近では、台風がもたらす南海上からの大量の水蒸気と陸地から南下する寒冷な空気がぶつかることで対流雲が発達し、大雨となることがある。風向シアー、温度差が明瞭な03、04時に、大島では1時間降水量 118.0 、 118.5 mmをそれぞれ観測し、同日08時20分までの24時間降水量は観測史上1位の 824.0 mm



第2図 第1図と同時刻の伊豆諸島付近におけるアメダスの風と主要な地点の気温。破線は沿岸前線の位置、長い矢羽根は 2 m/sを表す。

となった。この大雨により、同島では大規模な土石流が発生し、建物被害は368棟に上り、35名の死者、4名の行方不明者が出る甚大な災害となった。

（気象庁予報部予報課 河野麻由可）